

# 事業結果要約報告書

受付番号

2020 KJ-005

—科学技術振興関係—

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

2021年 5月 26日

所属機関名 任意団体 瀬戸内サラマンダー  
申請代表者 古本 大生  
役 職 代表  
フリガナ フルモト ダイキ  
氏 名 古本 大生 印

マツダ財団から受けた 助成金 200千円 による事業結果について、  
次のとおり報告します。

助成事業名

Robomaster でロボット技術を多くの人に興味を持ってもらう

(事業期間：2020年6月1日～2021年3月31日)

	計 画	実 施 結 果
事業内容	日時 2020年7月～8月頃 場所 ProGym (プロジム) 広島市中区東白島町3-25 対象 小学3年生～中学3年生 定員 15人 内容 ロボットプログラミングやロボット操縦体験を通じて、ロボットの楽しさに触れてもらう。その他、ロボットの展示も行う。	日時 2020年11月29日 PM1:00～ 場所 ProGym (プロジム) 広島市中区東白島町3-25 対象 小学3年生～中学3年生 参加者 10人+保護者5人 内訳 (小中高の先生; 0人) (生徒; 10人) 内容 コロナの影響で実施時期と内容を変更した。最新式のロボットアーム組み立てキット ARMPAL を活用し、ロボットの組み立てを体験することで、ロボットの仕組みを学ぶ内容へ修正して実施した。

## 事業の目的・ねらい

コロナの影響で実施内容を変更した。

当初はロボットの操縦やプログラミングに重きを置いていたが、ロボットの組み立て体験を通して、ロボットの仕組みを学ぶ機会とした。

## 事業の概要

当初はロボット操縦やロボットプログラミングの回を計画していたが、どちらも他人が触ったタブレットを他の人が触る機会が多く、コロナ感染リスクが高くなるため回避した。

期間中に最新式のロボットアーム組み立てキット ARMPAL が海外でリリースされたため、ロボットの組み立てを体験することで、ロボットの仕組みを学ぶ内容へ修正して実施した。

また、感染拡大により会場をキャンセルしなければならなくなるリスクを避けるため、複数回の開催は取りやめ、定員も 15 人から 10 人へ縮小しつつ、各チームには技術サポートを 1 名ずつ付けることで、内容の濃い 1 回の開催とした。

## 成果・効果

イベントでは 2 チームに分かれて、2 台のロボットの組み立てを行った。

予定の時間になっても完成しなかったため、残れる子はそのまま続け、会場も時間を延長し、保護者にも手伝ってもらいながら最後まで続けた。

結局 4 時間程度、組み立て作業を行うこととなったが、小学生の参加者も集中力を切らさず、熱心に取り組んでいたのが印象的だった。

なお、ロボットはレンタルだったが、一部破損してしまったため、予定より器具・備品費が増えてしまった。

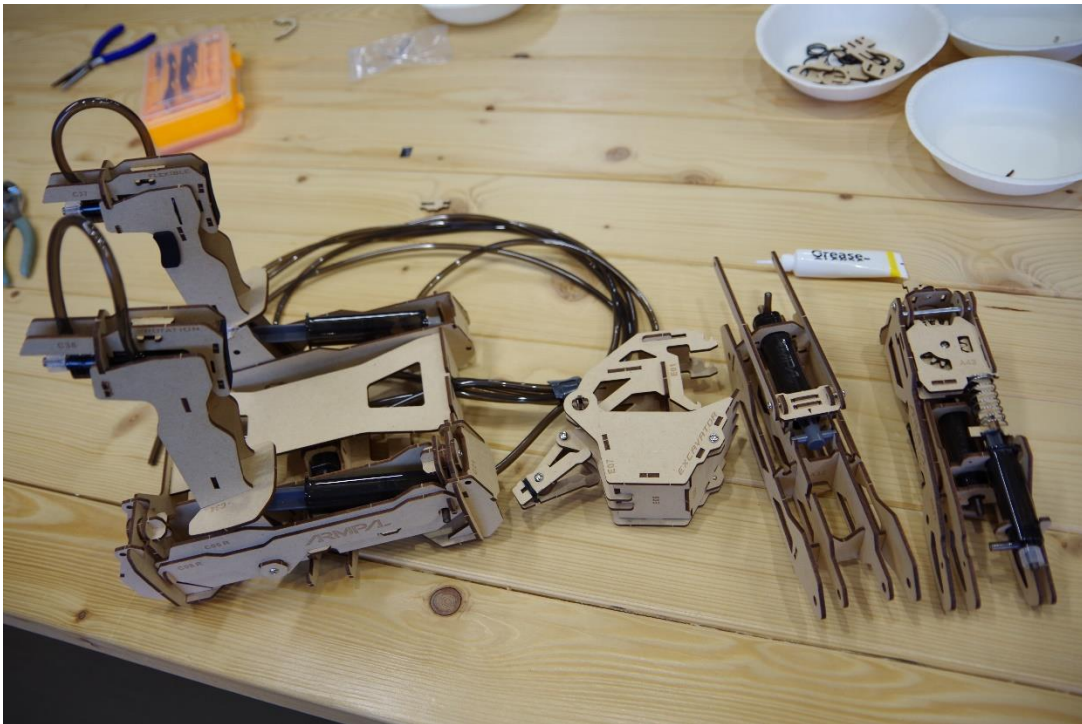
## 写真、図 (4 点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。)



ロボットの部品を準備しています。ロボットは木材がベース素材となっています。



板を組み合わせ、ねじ止めすることで作成していきます



操縦桿が出来上がりました。

ロボットはモーターやバッテリーは使わず、水の圧力と歯車で全てを操ります。



最後は完成したロボットと一緒に集合写真を撮りました。